

経営比較分析表（平成28年度決算）

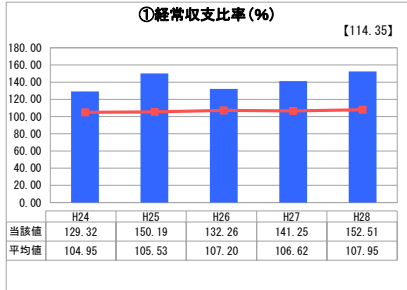
神奈川県 中井町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A8	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	82.18	99.95	1,458	

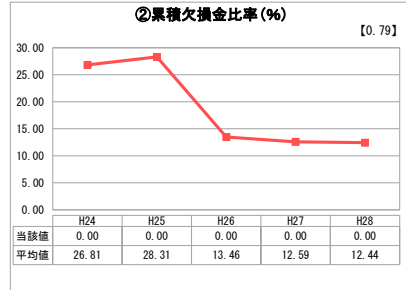
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
9,630	19.99	481.74
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
9,738	20.21	481.84

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	平成28年度全国平均

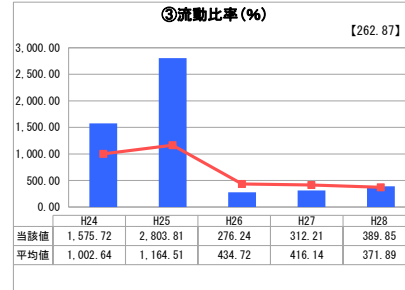
1. 経営の健全性・効率性



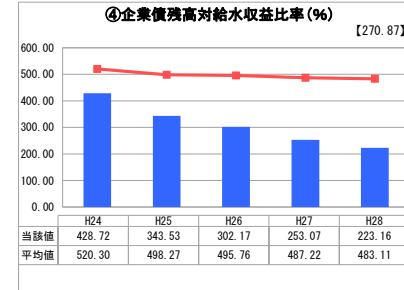
「経常損益」



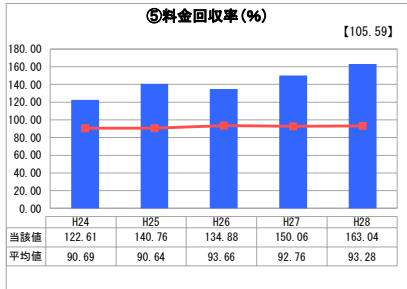
「累積欠損」



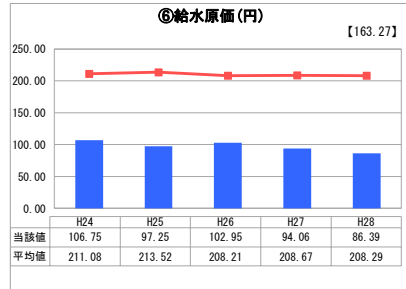
「支払能力」



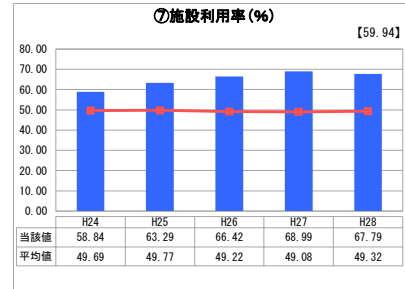
「債務残高」



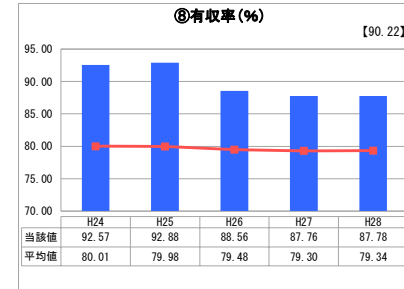
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

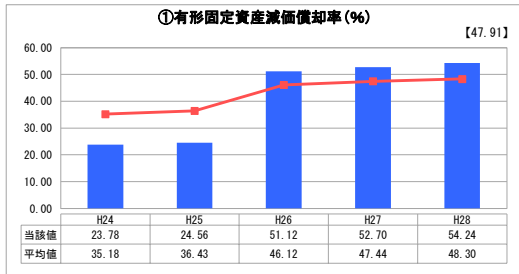


「施設の効率性」

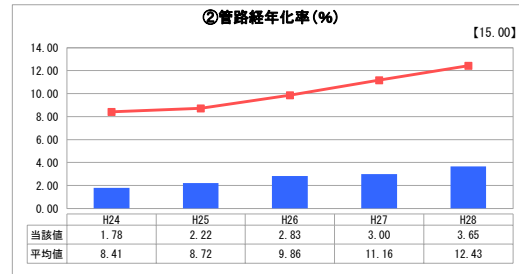


「供給した配水量の効率性」

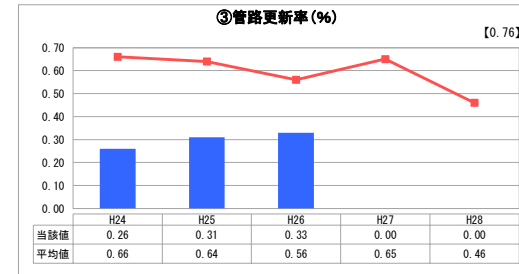
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率100%以上、累積欠損比率0%、流動比率100%以上、料金回収率100%以上と健全な経営状況ですが、一部大口使用者により給水収益は確保されているものの、家事用・業務用使用量は減少傾向にあり事業者の業績に影響されやすい不安定な状況にあるとも言えます。

職員数の減少や企業債利息の減少により給水原価が低く抑えられていますが、技術の継承が課題となっており、今後は委託費等の増加が見込まれます。また、企業債残高対給水収益比率は近年減少傾向にありますが、今後老朽化施設の維持更新や、耐震化工事により多額の資金が必要となることから、増加していくことが見込まれます。

2. 老朽化の状況について

減価償却率は類似団体と比べて高く、管路更新率は低いことから、老朽化が進み更新が進んでいない状況です。

管路経年化率は現時点では比較的低いものの、老朽化施設の維持更新や耐震化工事に多額の資金が必要となることから、更新時期の集中を避けるため計画的な更新が必要です。

全体総括

比較的健全な経営状況に見えますが、老朽化施設の維持更新や耐震化工事、また、類似団体と比較して施設利用率が高いことから、バックアップの検討も必要です。これらに多額の事業費を必要とするため、企業債の借入れや料金改定により資金を確保しなければなりません。

今後、経営戦略を策定し、適切な財政計画や投資計画に基づき安定的かつ効率的な事業運営を進めていきます。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年化率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。